

# 事業報告書

平成 30 年度

人間を救うのは、人間だ。  
Our world. Your move.

日本赤十字社京都府支部

# 目 次

## 写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

は じ め に

ページ

1. 災 害 救 護 活 動	.....	1
2. 赤 十 字 の 各 種 講 習	.....	9
3. 赤 十 字 奉 仕 団	.....	10
4. 青 少 年 赤 十 字 ( J R C )	.....	13
5. 医 療 事 業	.....	19
6. 健康相談など医療社会事業	.....	23
7. 看 護 師 の 養 成	.....	23
8. 血 液 事 業	.....	24
9. 国 際 活 動	.....	25
10. 支援者の増強と活動資金の確保	.....	27
11. 赤十字思想の普及・広報活動	.....	29
( 資 料 ) 平成30年度の主な行事	.....	34
赤十字大会の開催		
評 議 員 会		
業 務 ・ 会 計 監 査		
表 彰	.....	36
役 職 員 名 簿	.....	37
評 議 員 名 簿	.....	38
地 区 ・ 分 区 組 織 図	.....	39
施 設 一 覧	.....	40

# 写真でみる日本赤十字社京都府支部の活動

## ● 災害救護体制の充実強化



平成30年7月豪雨災害（岡山県）  
（京都第二赤十字病院救護班）



平成30年大阪府北部地震  
（京都第一赤十字病院救護班）



第4（近畿）ブロック支部合同災害救護訓練



救護班要員基礎研修



JR列車事故訓練



## ● 講習普及事業の強化



地域防災セミナー（福知山市）



救急法講習



幼児安全法講習



健康生活支援講習

## ● 有功会事業



有功会会員から小児病棟入院児への  
クリスマスプレゼント

## ● 青少年赤十字（JRC）の育成



リーダーシップ・トレーニング・センター  
(100回記念)



「NHK海外助け合い」  
街頭啓発募金キャンペーン



授業研究会（防災教育）  
(京都市立金閣小学校)

## ● 赤十字奉仕団の活動



防災セミナーでの炊き出し体験  
(城陽市地区奉仕団(城炊会))



献血探偵団でボランティアスタッフとして活躍  
(青年奉仕団(赤十字京都ユース))



## ● 赤十字キャンペーンの実施



ひろげよう赤十字の輪（和）＜まいづる田辺城まつり＞  
子ども救護服の着用体験



ひろげよう赤十字の輪（和）  
＜ポルタキャンペーン＞



缶バッチ作成コーナー  
（北区ふれあいまつり）



世界赤十字デーレッドライトアップ2018年  
（二条城（世界遺産））

## ● 血液事業の推進



京都府赤十字血液センター竣工式

## はじめに

京都府民をはじめ関係者の皆様におかれましては、日頃から赤十字事業の推進について、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、厳しい社会経済情勢の中、赤十字の組織及び財政の根幹と成る会員の増強や活動資金の募集について、地区・分区、赤十字奉仕団、有功会会員、協賛委員の皆様をはじめ、多くの方々から温かいご支援を賜っており、心から感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災から8年が経過しましたが、この間、34都道府県、47件もの災害に日赤の救護班が出動し、義援金を募集するという異常な事態が続いております。とりわけ昨年は、一つの災害であるとも言われるほどの猛暑が続き、また、大阪府北部地震、7月豪雨、北海道胆振東部地震、更には相次ぐ台風など、自然災害が多発した年となりました。

京都府支部においても、台風直撃の都度、徹夜体制で対応するとともに、7月豪雨の際には、直ちに救護班を編成して救護活動を行ったほか、府内の4市に救援物資を搬送しました。

一方、世界に目を向けましても、自然災害、民族や宗教等による紛争、テロ等により、人間のいのちや健康、尊厳が脅かされる状況が生じており、赤十字による災害救護、義援金、救援金の募集等の活動への期待はますます大きくなっております。

京都府支部では、赤十字精神に基づき、災害救護活動はもとより、医療事業や血液事業の推進、看護師の養成、救急法等の各種講習会の開催、5月の赤十字運動月間における取組、各地域で開催されるイベントへの赤十字ブースの出展など、赤十字奉仕団をはじめ多くのボランティアの皆様のお力添えをいただき、様々な事業を展開しているところです。

本年は、国際赤十字・赤新月社連盟発足100周年、京都府支部創立130周年という記念すべき節目の年に当たります。このため、「支部創立130周年記念 京都府赤十字大会」をはじめとする記念事業を実施し、赤十字思想の一層の普及・啓発に努めてまいります。

今後とも、社会情勢の変化に対応するとともに、地域や府民の皆様のニーズに的確に応えるため、事業の見直し、充実を行い、また、高い確率で発生が予想される南海トラフ地震等の大規模災害に備えて災害救護体制の更なる強化を図るなど、「人道・博愛」の精神に基づく赤十字活動を推進してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

# 1. 災害救護活動

## (1) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期に及ぶ医療救護活動ができるように、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等から成る常備救護班（15班）を編成しており、また、血液センターでは血液供給班を編成しています。

災害等緊急派遣に対応する救護班要員を次のとおり任命・登録し、活動に備えています。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	1	11	0	12	災害対策本部要員
京都第一日赤	21	29	13	11	74	常備救護班要員
京都第二日赤	6	24	10	8	48	〃
舞鶴日赤	3	9	5	1	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃（福知山）	0	0	2	0	2	〃
合計	30	63	45	20	158	

※ 第一日赤・第二日赤の常備救護班要員には、日本DMAT隊員登録者を含んでいます。

※ 看護師（助産師を含む）には、こころのケア要員を含みます。

## (2) 防災ボランティア団体等の状況

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して、平成8年1月に発足した「赤十字レスキューチェーン京都」は、有事の際に実働可能なメンバーを確保するためにメンバーの増員を図るとともに、ヘリコプター操縦等の特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録し、災害救護奉仕活動の基盤づくりに努めています。

赤十字レスキューチェーン京都（支会別会員数 平成31年3月31日現在）

支会名称		団員数
舞鶴支会		5
福知山支会		10
亀岡支会		14
京都支会		17
長岡京支会		10
宇治支会		12
個人	一般防災ボランティア登録	75
	救援ヘリコプター登録	2
合計		145



また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し、有事に備えています。

平成30年度特殊救護要員登録者数	24
------------------	----

### (3) 救護員等の訓練、研修

京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

#### ①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者数
由良川水系総合防災演習	5/12	福知山市（由良川河川敷）	10
第4ブロック合同災害救護訓練	6/2	大阪府支部他	49
京都市総合防災訓練	9/1	右京区（桂川河川敷）	22
京都府総合防災訓練	9/2	綾部市（総合運動公園）	26
JR列車事故総合訓練	10/19	下京区（京都鉄道博物館）	15
長岡京市防災訓練	10/28	長岡京市（長岡第二中学校）	6
久御山町総合防災訓練	11/18	久御山町（久御山中央公園）	3
京都刑務所総合防災訓練	1/25	山科区（京都刑務所）	9
近畿地方DMATブロック訓練	2/3	京都市内	61
支部管内合同災害救護訓練	2/23	伏見区（京都府赤十字血液センター）	93
合 計			294



救護班要員基礎研修会（トリアージ）



支部管内合同訓練（本部参集訓練）

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
救護班要員基礎研修	5/19	京都第一赤十字病院	93
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	5/27, 8/13 8/18, 19	京都第二赤十字病院	20
こころのケア研修	8/7	京都府支部	12
こころのケア研修	10/6	京都第二赤十字病院	22
救護員としての赤十字看護師研修 (こころのケア研修)	10/17	舞鶴赤十字病院	8
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	11/14～16	舞鶴赤十字病院	5
第4ブロック合同原子力災害対応基礎研修会	11/30 ～12/1	長浜赤十字病院	10
日赤災害医療コーディネーター研修会 (第1回)	12/7～8	本社	3
こころのケア指導者養成研修	12/10～12	日本赤十字社幹部看護師 研修センター	1
全国赤十字救護班研修 (第2回)	2/16～18	兵庫県支部災害救護支援セン ター及び兵庫県支部	4
こころのケア研修	3/9	京都第一赤十字病院	17
合 計			195

③救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会場	参加者数
第4ブロック救護員指導者協議会	4/13	大阪府支部	20
支部救護員指導者協議会	7/24	京都府支部	16
第4ブロック救護員指導者協議会	9/25	大阪府支部	16
支部救護員指導者協議会	10/16	京都府支部	21
第4ブロック救護員指導者協議会	12/15	滋賀県竜王町 地域産業研修センター	15
支部救護員指導者協議会	1/15	京都府支部	18
第4ブロック救護員指導者協議会	2/28	滋賀県危機管理センター	18
合 計			124

(4) 日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）

非常時の備えや心構えなどを紹介し、赤十字の災害時における活動を知っていただくとともに、災害に対する認識を新たにさせていただくため、「赤十字防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、赤十字の地域啓発の一つとして位置付けており、京都府支部の地区・分区や各社会福祉協議会・各自治会などで積極的に開催していただきました。

内 容	実 施 日	場 所	参加者数
災害時高齢者生活支援のためになど	4/28	京都市立仁和小学校	8 5
	9/9	福知山市惇明中央集会所	3 4
	10/20	京田辺市 アカデミアホール	2 0
災害エスノグラフィー	10/27	福知山市日吉ヶ丘集会所	3 2
	2/19	京都ガーデンパレス	3 9
災害への備え	12/5	サンサ右京	6 5
	2/27	京都少年鑑別所	1 1
応急手当・炊き出しなど	2/15	南宇治中学校	1 1 0
合 計			3 9 6



みんなでハイゼックス炊飯に挑戦



(5) 救護、救援活動派遣実績

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震に対して、京都府支部では地震発生直後からDMAT（災害派遣医療チーム）2班を派遣、その後も救護班1班など合計24名の救護員を派遣しました。

また、西日本を中心に甚大な被害が発生した7月豪雨災害に対しては、救護班2班や災害医療コーディネートチームなど合計26名を派遣し、避難所での診療や岡山県支部の支援を行いました。

①災害救護、救援活動の派遣実績

内 容	実 施 日	場 所	派遣人員
大阪府北部地震・DMAT派遣（第1班）	6/18	高槻市	2
大阪府北部地震・救護班派遣（第1班）	6/18	大阪市	7
大阪府北部地震・救護班派遣（第2班）	6/21	茨木市	5
大阪北部地震に関連する赤十字レスキューチェーン京都のボランティア活動 （災害ボランティアセンター運営含む）	7/2～3	茨木市	3
7月豪雨災害・医療コーディネートチーム派遣	7/7	京都市	3
7月豪雨災害救援物資搬送	7/9	宮津市	2
7月豪雨災害・DMAT隊員	7/10～13	広島市	1
7月豪雨災害・医療コーディネートチーム派遣	7/13～16	岡山市	3
7月豪雨災害・救護班派遣（第1班）	7/15～18	倉敷市	8
7月豪雨災害・救護班派遣（第2班）	7/24～27	倉敷市	7
7月豪雨災害・こころのケア指導者派遣	7/28～29	岡山市他	1
7月豪雨災害に関連する赤十字レスキューチェーン京都のボランティア活動 （災害ボランティアセンター運営含む）	7/9～18	福知山市	26
合 計			68

②イベント等への救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内 容	実 施 日	場 所	派遣人員
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市（保津川河川敷）	5
宇治福祉まつり	11/4	宇治市（宇治市総合福祉会館）	7
宇治川マラソン大会	2/24	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	30
合 計			42

(6) 救護資機材の整備

災害救護に必要な救護関係資機材については、移動手段として最も重要な車両整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備 考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	4	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に常置
	装備車（トラック）	2	
	その他の救援車両	5	
除染	除染設備(テント)	2	除染設備一式、特殊防護服 4着は舞鶴に常置※
	特殊防護服(レベルC)	18	
テント	エアー	3	
	パラソル	58	27張は地区・分区に配備
	パイプ2×3間	82	66張は地区・分区に配備
	パイプ3×3間	2	
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器（AED 8台を含む）		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		17	3台はドラッシュテント用
担架(特殊を含む)		28	
衛星通信機器（車載用2台を含む）		9	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に衛星回線（インターネット）を使用した基地局（IPSTAR）を開設
無線機	150MHz	42	
	410MHz	29	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※ この他に、除染設備（テント）一式及び特殊防護服（レベルC）4着が京都第一、京都第二赤十病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

(7) 災害救護用備蓄倉庫

地 域	設 置 場 所	形 状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	京都第二赤十字病院所有地内	建物内
	日赤京都救護活動センター内	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター内	コンテナ倉庫
	精華町地域福祉センターかしのき苑	コンテナ倉庫

(8) 救援物資の配布と備蓄

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、救援物資である毛布・緊急セットを府内全市町村の赤十字地区・分区に備蓄しているほか、災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配分状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数	緊急セット 配分数	安眠セット 配分数
	世帯数	人 員			
住家全焼	18	36	35	28	21
住家全壊	2	8	8	2	0
住家流出	0	0	0	0	0
住家半焼	12	28	33	22	25
住家半壊	2	3	3	1	3
住家床上浸水	18	36	38	15	8
避難所	83	191	116	39	26
その他	6	14	14	3	3
合 計	141	316	247	110	86

②救援物資の備蓄状況

場 所	毛布 (枚)	緊急セット (個)	安眠セット (個)	タオルケット (枚)
支部等の倉庫	5,820	2,634	1,286	1,300
地区・分区	1,921	868	618	0
合 計	7,741	3,502	1,904	1,300



### (9) 災害死亡見舞金の贈呈

火災などの災害により死亡された9名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(平成31年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

9件 9名 180,000円 (1名 20,000円)

### (10) 国内災害義援金

(平成31年3月末現在)

区 分	京都府支部		全国(募金総額)
	件数	金額(円)	金額(円)
東日本大震災	39	9,790,203	1,003,376,325
平成28年熊本地震災害	10	1,120,787	388,743,046
平成29年7月5日からの大震災	5	192,465	167,810,400
平成30年大阪府北部地震災害	19	709,519	346,868,019
平成30年米原市竜巻災害	3	15,300	35,092,059
平成30年7月豪雨災害 (京都府)	586	57,672,703	23,851,383,151
(広域扱)	65	13,370,680	
平成30年北海道胆振東部地震災害	27	1,057,008	5,415,088,987
合 計	754	83,928,665	31,208,361,987

※全国(募金総額)の金額は「速報値」

※平成30年7月豪雨災害義援金：京都府義援金配分委員会への送金額 175,969,370円

※東日本大震災義援金：平成23年の受付開始からの累計額は、3,412億9,647万6,038円

※平成28年熊本地震災害義援金：平成28年の受付開始からの累計額は、293億8,953万2,912円



救護班要員基礎研修(総合演習)

## 2. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導に当たる指導員の養成にも努めました。

講習区分	資格講習						短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習		救急員等資格継続研修		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数	回数	人数				
救急法	25	1,045	10	234	7	104	62	2,758	104	4,141
水上安全法			3	42	1	12	2	59	6	113
健康生活支援講習			2	13	2	11	44	768 (397)	48	792
幼児安全法			3	57	1	22	35	799	39	878
合計	25	1,045	18	346	11	149	143	4,384	197	5,924

※この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※（ ）内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

### (1) 救急法等（救急法・水上安全法）

#### ①指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	4	50	77	131
水上安全法	0	0	19	19

#### ②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
赤十字救急法講師研究会	6/4～5	本社	1
赤十字救急法講師研修会	12/11～13	本社	2
赤十字水上安全法指導員研修会	2/11	京都府支部	18
赤十字救急法指導員研修会	3/9, 10, 16, 17	京都府支部	110
合計			131

## (2) 健康生活支援講習等（健康生活支援講習・幼児安全法）

### ①指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
健康生活支援講習	1	22	2	25
幼児安全法	3	20	4	27

### ②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習（事前説明会）	8/25	京都府支部	2
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習（本講習）	9/29～30 10/6～8	京都府支部	2
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習（新任指導員研修）	12/1～2	京都府支部	2
第4ブロック赤十字健康生活支援講習指導員研修会	12/12	大津赤十字病院	14
赤十字健康生活支援講習指導員研修	2/26	京都府支部	16
赤十字幼児安全法指導員研修	2/26	京都府支部	21
赤十字健康生活支援講習指導員研修（ボランティア指導員のみ）	2/27	京都府支部	2
合 計			59

## 3. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及、活動資金の募集、献血の推進、災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

### (1) 奉仕団登録状況

区分	団数	分団数	人数	備考
地域奉仕団	14	219	2,394	京都市11団、綾部市1団、舞鶴市1団、城陽市1団
青年奉仕団	3	—	266	赤十字京都ユース26名 京一・京二看護学生奉仕団240名
特殊奉仕団	2	—	88	赤十字レスキューチェーン京都（個人登録を除く）68名、青少年赤十字賛助奉仕団20名



## (2) 奉仕団活動状況

### ①赤十字レスキューチェーン京都

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
第4ブロック救護員指導者協議会	4/13	大阪赤十字会館	1
赤十字無線救護奉仕団第4ブロック連絡協議会役員会	4/14	大阪赤十字会館	3
由良川水系総合水防演習	5/12	福知山市（由良川河川敷）	5
救護班要員基礎研修	5/19	京都第一赤十字病院	2
赤十字運動月間キャンペーン	5/26	下京区（ポルタプラザ）	3
第4ブロック合同災害救護訓練	6/2	大阪府支部 他	7
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市保津川河川敷	3
京都市総合防災訓練	9/1	右京区（桂川運動公園）	4
京都府総合防災訓練	9/2	綾部市総合運動公園	7
長岡京市防災訓練	10/28	長岡京市立長岡第二中学校	4
宇治福祉まつり	11/4	宇治市総合福祉会館	6
久御山町総合防災訓練	11/18	久御山中央公園	2
京防災フェスタ	12/9	梅小路公園芝生広場	3
第4ブロック救護員指導者協議会	12/18	滋賀県竜王町地域産業研修センター	1
支部管内合同災害救護訓練	2/23	京都府赤十字血液センター	3
宇治川マラソン大会	2/24	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	18
第4ブロック救護員指導者協議会	2/28	滋賀県危機管理センター	1
第30回全国車いす駅伝競走大会	3/9～10	京都市内各所	2
合 計			75

※その他に、支会ごとに毎月1回例会を開催

②赤十字京都ユース(RCY)

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
青年赤十字奉仕団全国協議会	4/21～22	本社	1
赤十字運動月間キャンペーン	5/26	ポルタプラザ	7
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	6/23～24	あうる京北	7
献血探偵団	8/3	イオンモール桂川	4
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	8/26	京都府支部	14
AIDS文化フォーラムin京都	9/29	同志社大学新町キャンパス	8
あすのKYOTO・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	2
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/24～25	しあわせの村(神戸市北区)	3
京防災フェスタ	12/9	梅小路公園芝生広場	8
平成31年京都市成人の日記念式典	1/11	京都市歓業館「みやこめっせ」	5
第30回全国車いす駅伝競走大会	3/9～10	京都市内各所	78
合 計			137

※その他に、青少年赤十字事業に参加するとともに、毎月1回例会を開催

③青少年赤十字賛助奉仕団

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第3回編集委員会	4/10	京都府支部	8
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第4回編集委員会	5/8	京都府支部	9
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第5回編集委員会	6/19	京都府支部	9
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	6/19	白沙村荘 (京都市左京区)	11
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/5～6	本社	2
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第6回編集委員会	7/17	京都府支部	9
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第7回編集委員会	8/21	京都府支部	8
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第8回編集委員会	9/25	京都府支部	8
第4ブロック支部青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	10/25～26	イーグレ姫路他 (姫路市)	6
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第9回編集委員会	10/30	京都府支部	8
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第10回編集委員会	11/27	京都府支部	8
「青少年宿泊事業等100回記念誌」第11回編集委員会	12/18	京都府支部	8
合 計			94

### (3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所（活動内容）	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	55	229

## 4. 青少年赤十字（JRC）

将来を担う青少年の一人ひとりが、世界的視野とたくましい行動力を持って、世界の平和と人類の福祉に貢献できるような人間に育ててほしいということはみんなの願いです。

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を作り上げるよう学校教育の中で先生が指導者となって進められています。

### (1) 青少年宿泊事業等100回記念誌「空は世界へ」を発行

京都府支部では、大正3年に天橋立で結核予防事業として、虚弱児童を対象に夏期保養所を全国に先駆けて開設しました。平成30年8月に宇治市で開催したリーダーシップ・トレーニング・センターで100回目の節目を迎えたことから、「青少年宿泊事業等100回記念誌『空は世界へ』」を作成し、青少年赤十字加盟校等に配布しました。

発行日：平成31年2月28日

発行部数：700部



### (2) 加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	合計
加盟校数	16	190	7	(※) 12	225
メンバー数	903	69,414	2,872	80	73,269

※ 高校のJRCクラブ又はJRC同好会 5校



### (3) リーダーシップ・トレーニング・センター参加状況

対 象	実 施 日	会 場	参加校数	参加者数
小学生の部	8/4～6	アクトパル宇治	53	75
中学生の部			14	16
高校生の部			4	12
合 計			71	103

赤十字の精神に基づき、小中学生・高校生の自主性とリーダーシップを高めることを目的  
 にとり、学校の先生方の指導の下、夏休みを利用して行われる宿泊研修

平成30年度は、大正3年に夏期保養所を開設してから100回目の開催

スタッフ： 京都府青少年赤十字指導者、RCY、京都府青少年赤十字賛助奉仕団  
 及び赤十字職員（京都第一赤十字病院、京都府赤十字血液センター、京  
 都府支部）40名が参加

プログラム： 国際人道法の基礎、献血、国際救援活動、防災教育、応急手当



リーダーシップ・トレーニング・センターの様子

### (4) 国際交流事業の実施

#### 第8回第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業（派遣）

内容	実施日	交流国	派遣者
派遣	8/16 ～22	マレーシア	メンバー12名、指導者4名、職員2名、青年奉仕団2名 （うち、京都からメンバー2名、指導者1名、職員1名が参加）

近畿の6府県（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）支部が合同で派遣を実施

平成30年度は京都府支部が当番支部となり、小川団長（京都府青少年赤十字指導者協議会  
 会長）と組織振興課長を派遣

クアラルンプール：マレーシア赤新月社本社、IFRCを訪問

ジョホールバル：学校訪問、ホームステイなどを通して交流

## (5) 青少年赤十字モデル事業

テーマ・内容	会場
<p><b>「健康・安全」</b></p> <p>○健康な生活リズムを通して、自分の健康に対する関心や安全についての構えを身に付け、自分の体を大切にする気持ちを持つ。 早寝・早起き・朝ごはん、手洗い・うがい、熱中症対策、咳エチケット、保健行事、保健指導等、家庭との連携を図りながら取り組む。</p> <p>○遊びを通して、危険な場所や事物などが分かり、安全についての理解を深めたり、避難訓練などを通して、災害などの緊急時に適切な行動が取れるようにする。 避難訓練、交通安全教室、登園指導、防災教材「ぼうさいまちがいがし『きけんはっけん!』」の活用等</p>	京都市立 京極幼稚園
<p><b>「健康・安全」</b></p> <p>基本的な生活習慣を大切に、朝ごはんをしっかりと食べられる子どもに育てる取組 体験活動や調査活動を取り入れながら家庭への啓発のために、講演会や親子の朝食クッキング教室の開催等の取組を行う。</p>	京都市立 養正小学校
<p><b>「奉仕」</b></p> <p>「地域と共にボランティア～気づき・考え・行動する～」</p> <p>○地域クリーン活動 部活動参加生徒が地域の方々と共に中学校区域の清掃活動を行う。</p> <p>○地域交流演奏会 地域の方々を招き、校下3小学校の生徒と共に演奏会を実施する。その際に、青少年赤十字活動の啓発を行うとともに、ガーデニング部で育てた花を販売し、収益金を日本赤十字社に寄付する。</p>	京都市立 神川中学校
<p><b>「健康・安全」「国際理解・親善」</b></p> <p>『平成30年度日本赤十字社の本社見学と学園祭での展示』 赤十字活動や歴史を学ぶために、本社の見学を実施する。 校内で、赤十字活動を広報・普及する。</p>	華頂女子高等学校

## (6) 防災教育プログラム

防災学習の取組（京都府支部確認分）

実施校	実施日	内容
京都市立京極幼稚園	9/12	防災研究授業 幼稚園・保育所向けの防災教材ぼうさいまちがいがし「きけんはっけん！」
華頂女子中学校	不定期	理科の授業で活用
京都市立近衛中学校	1/10	地震、火災を想定した避難訓練
宇治市立南宇治中学校	2/15	1年生対象の防災学習
京都市立金閣小学校	2/20	授業研究会（防災教育）6年生 「じぶんだったらどうする」

(7) 高校生による献血の街頭啓発等

学 校 名	実施日	会 場	参加者数
京都府立嵯峨野高等学校 JRCメンバー	8/2	献血ルーム四条	10
華頂女子高等学校 JRCメンバー	1/26	献血ルーム四条	6
京都府立鳥羽高等学校 JRCメンバー	2/23	献血ルーム四条	6
京都府立山城高等学校 JRCメンバー主催 1、2年生対象の献血セミナー	3/13	山城高校	7
合 計			29



第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業（派遣）

(8) 活動状況

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/16	京都府支部	15
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/18	京都市総合教育センター	16
赤十字運動月間キャンペーン	5/26	京都駅前地下街 ポルタ	23
第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業第1回事前研修会	5/27	大阪府支部	5
第4（近畿）ブロック支部青少年赤十字指導者協議会	5/29	和歌山県支部	2
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/9	京都府支部	28
第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業第2回事前研修会	6/17	大阪府支部	5
第4（近畿）ブロック支部青少年赤十字指導者研修会	6/23～24	紀三井寺ガーデンホテルはやし（和歌山県）	3
全国青少年赤十字指導者協議会総会・研修会	6/28～29	本社	1
第2回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	7/4	京都府支部	23
第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業第3回事前研修会	7/16	大阪府支部	4
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター事前研修会	7/27	京都府支部	25
華頂女子高等学校JRC部メンバー本社見学	7/30	本社	5
第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業第4回事前研修会	8/9～10	京都府支部	5
第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業事後研修会	9/24	大阪府支部	5
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター反省会	10/2	京都府支部	11



行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	10/20	京都府支部	28
福島県被災地視察及び高校青少年赤十字との交流研修	11/16～18	福島県環境創造センター・コミュニティ福島他	4
青少年赤十字国際交流集会 JRC/RCY International Meeting、“Tokyo 2018”	11/22～25	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）	2
「あすのKyoto・地域創生フェスタ」における広報啓発活動	11/23	京都府立植物園	6
NHK海外たすけあい街頭啓発募金キャンペーン	12/8	四条河原町	28
子ども体験教室（ふれあいバスケット）	12/9	京都市立音羽小学校	44
京都府立鳥羽高等学校生の課題研究	12/20	京都府支部	10
NHK海外たすけあい街頭啓発募金キャンペーン	12/24	イオンモールKYOTO	17
青少年赤十字研究会	1/9～10	本社	2
京都市立音羽小学校児童会による青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動	1/15～18	京都市立音羽小学校	-
第3回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	3/4	京都府支部	14
第3回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3/16	京都府赤十字血液センター	24
青少年赤十字スタディー・センター	3/22～26	東照館（山梨県）	2
合 計			357

## 5. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しており、昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めています。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

### (1) 京都第一赤十字病院

平成30年度の目標は、「京都府南部地域における最高の急性期病院当院を目指す」でした。主な行動目標として、「厳しい状況の中最終的に黒字となる」、「高度急性期として手術・救急・がん診療の推進、地域連携による地域包括ケアの構築」、「院内・院外におけるチーム医療の促進、働き方改革への取り組み」、「医療人として学習および研鑽」などでした。具体的な取組としては、以下のとおりです。



京都第一赤十字病院

- 5月 救命センターICUを移転し、重症救急患者の受入体制の強化
- 7月 医師の負担軽減のため医師事務作業補助新体制の開始
- 9月 ゲノム医療連携病院の指定・遺伝カウンセリング室設置によるがん診療強化
- 10月 入退院支援センター開設によるシームレスな院内・院外の連携の促進  
病院機能評価Ver. 5認定  
ふるさと企業大賞（総務大臣表彰）の受賞

また、高度急性期病院機能の充実を目的として、手術支援ロボット（ダビンチ）及びバイプレーン（血管造影）を導入しました。

災害対応としては、大阪北部大地震（6月）、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震（9月）、台風21号による災害にDMAT・救護班などを派遣しました。国際救援として、10月から2か月間バングラデシュに看護師1名を派遣しました。

財務上は、平成30年上半期は、4月の診療・介護報酬同時改定に対応しつつ取り組んだ結果、順調でしたが、下半期の新入院患者数が思うほど伸びず、入院収収益153億4,800万円（前年度比マイナス734万円）となり、医業収支は2億3,000万円の黒字にとどまりました。総収支は法人税、医業奉仕費用がかさみ734万円の赤字となり、新たな課題もありまし

たが、機能的には目標である「京都府南部地域における最高の高度急性期病院」に一歩近づいた年となりました。

令和元年度は収支の黒字化を重点目標とします。同時に、働き方改革にも取り組んでいく必要がありますので、「令和」の時代にふさわしい新たな調和を目指していきたいと考えています。

## (2) 京都第二赤十字病院

平成30年度は、医業収益210億4,800万円、医業費用209億4,900万円、本業である医業収支は9,900万円の黒字でしたが、病院総収支では6,400万円の赤字となりました。

これは、本年度の特別な要因として「電子カルテの更新（事業費約9億円）」や「日赤全体での企業年金会計制度の導入」等により、追加費用が約2億円発生したことが大きく影響したものと考えております。

ただし、通年ベースで見ても、入院診療収益は重要指標である新規入院患者数減少の影響で5,900万円の増加と伸び悩み、外来診療収益は高額医薬品の処方により2億4,500万円増加したものの、材料費が増加しており、決して楽観できる状況ではありません。

新棟建設を目標とする京都第二赤十字病院において、病院総収支の赤字は、存続の危機となるものであり、令和元年度については、病院総収支の黒字化、新棟建設に係る資金積上げを必須の目標に、救急医療における断らない医療の徹底を継続しつつ、地域医療連携の推進により紹介入院患者を獲得し、増収につなげます。施設・設備投資及び費用については、予算管理の徹底を行うことにより適正化、効率化に取り組んでまいります。

また、高度急性期病院として質の高い医療を提供することにより地域における役割を果たし、患者の皆様から選ばれ続ける病院となれるよう職員一丸となって努力してまいります。



京都第二赤十字病院

## (3) 舞鶴赤十字病院

平成30年度も、前年度に引き続き医師が減少し、外来診療の縮小を余儀なくされ、一段と厳しい年度のスタートとなりました。京都第一赤十字病院及び京都第二赤十字病院から専攻医の派遣や京都府立医大等から非常勤医師の派遣をいただくことにより、年度途中からではありますが、前年度並みの医療サービスを維持することができました。

また、舞鶴赤十字病院の強みであるリハビリ部門において、リハビリ職員のユニホームをスタイリッシュなデザインに変更することにより、リハビリテーションの存在感を更

に高め、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟への強化を図りました。

さらに、稼働件数が増加傾向にある在宅医療（訪問看護）の強化を図ることで在宅サービスの向上に繋がり、地域医療に大いに貢献できました。

舞鶴赤十字病院は、急性期100床、地域包括ケア病床50床、回復期リハビリ病床48床を有する計198床の小規模な医療施設です。今後も、在宅への需要が増大している訪問看護部門を強化しながら、地域にマッチしたバランスの取れた医療機能の分化と連携を推進し、赤十字病院として存在感を高め、良質な医療を提供できるよう努めてまいります。



舞鶴赤十字病院



医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数（人）				入院患者数（人）		外来患者数（人）	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	666	612	総合内科、リウマチ内科、糖尿病・内分泌内科・血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経・脳卒中科、呼吸器内科、腎臓内科・腎不全科、外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科(心療内科)、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、化学療法部、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、病理診断科	246	704	297	1,247	186,615	511	317,814	1,313
京都第二赤十字病院	668	639	総合内科（内科）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科（神経内科）、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科（精神科）、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	227	669	329	1,225	186,713	512	338,115	1,391
舞鶴赤十字病院	198	198	内科、消化器内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科	16	136	113	265	55,445	152	86,271	355

※ 病床数・職員数は平成31年3月31日現在、患者数は平成30年度実績



## 6. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて、社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区 分	件 数	延日数	延派遣職員			
			医 師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	2	3	3	3	1	7
京都第二赤十字病院	12	13	5	18	1	24
舞鶴赤十字病院	11	11	0	9	3	12
合 計	25	27	8	30	5	43

## 7. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、約130年を超える歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

### (1) 養成施設及び学生数（平成31年3月31日現在）

学 校 名	1 年	2 年	3 年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	38 (3)	41 (2)	42 (3)	121 (8)
京都第二赤十字看護専門学校	45 (2)	41 (4)	41 (2)	127 (8)
合 計	83 (5)	82 (6)	83 (5)	248 (16)

( ) は男子学生の内数

### (2) 進路等の状況（平成30年度）

学 校 名	所属病院	進 学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	32	4	6	42
京都第二赤十字看護専門学校	33	1	5	39
合 計	65	5	11	81

## 8. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、各種団体等の皆様のご理解とご協力を得て、平成30年度の献血者数は103,553人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様に献血へのご理解を深めていただき継続的なご協力を呼び掛けるために、様々なキャンペーンやイベントを行っています。併せて、複数回献血協力者の確保や若年層をはじめとする幅広い年齢層への献血の普及啓発も図っています。

### (1) 平成30年度 献血状況

献血方法別	京都府		全国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
成分献血	28,112	27.2	1,363,592	28.8
400mL献血	73,769	71.2	3,230,411	68.2
200mL献血	1,672	1.6	141,941	3.0
合計	103,553	100.0	4,735,944	100.0

### (2) 平成30年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都府		全国	
	本数(本)	構成比(%)	本数(本)	構成比(%)
全血	0	0.0	50	0.0
赤血球	146,507	33.0	6,350,246	36.6
血漿	64,860	14.6	2,179,996	12.6
血小板	232,641	52.4	8,808,065	50.8
計	444,008	100.0	17,338,357	100.0

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したものの

### (3) 若年層献血者確保対策

将来の輸血医療を支える子どもたちにとって献血を知るきっかけとなり、親子で参加できる献血イベントとして、乙訓献血推進協議会のご協力により、これまで献血ルーム京都駅前前で実施していた「Kids献血探偵団」を平成30年度はイオンモール京都桂川で開催し、122組341名の方に参加していただきました。

献血の模擬体験コーナーでは、お子さんに採血ベッドに横になっていただき、どのように献血をするのかを看護師が採血装置を使いながら説明し、実際の消毒や血圧測定を体験していただきました。また、同日に献血も実施しており、保護者の献血を見学されたお子さんも多くいらっしゃいました。



「Kids献血探偵団」の様子

## 9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として世界各国の赤十字社・赤新月社191社やジュネーブにある赤十字の国際機関と共に国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社はお互いに協力し合いながら活動を続けていますが、京都府支部としても救援金の受付や救援事業等を行いました。

### (1) 海外救援金

#### ①海外救援金

(平成31年3月末現在)

	京都府支部		全国(募金総額)
	件数	金額(円)	金額(円)
中東人道危機	0	0	46,590,868
バングラデシュ南部避難民	0	0	31,628,883
2018年インドネシア・ロンボク島地震	2	11,000	36,448,667
2018年インドネシア・スラウェシ島地震	2	11,000	140,495,940
2019年モザンビークサイクロン	0	0	2,473,455
合計	4	22,000	257,637,813

※全国(募金総額)の金額は「速報値」

※中東人道危機救援金：平成27年の受付開始からの累計額は、1億8,011万4,750円

※バングラデシュ南部避難民救援金：平成29年の受付開始からの累計額は、6,042万5,322円

#### ②「第36回NHK海外たすけあい」寄付金

(期間 平成30年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府(円)	全国(円)
支 部	790,778	51,851,652
N H K	439,672	25,836,836
銀 行 等	10,532	22,824,784
本社(郵便局含む)		535,582,216
合 計	1,240,982	636,095,488

#### ③青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動

日本赤十字社の青少年赤十字海外支援事業として、ネパール赤十字社における水や衛生設備の整備事業及びバヌアツ赤十字社における子どもたちの防災教育事業資金に充当

京都府立山城高等学校JRC同好会 2,663円

京都市立音羽小学校児童会 5,025円

日赤京都府支部有功会の国際援助協力事業 30,000円

## (2) 支部国際活動参加事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、カンボジア赤十字社・ミャンマー赤十字社・東ティモール赤十字社に対して救急法等の講習の普及支援を平成16年度から実施しています。この事業は、各支援対象赤十字社に全国の赤十字救急法指導員をスタッフとして派遣し、概ね1～2週間程度の日程で救急法指導員研修会や指導員養成講習を行うとともに財政面の支援も行うものです。京都府支部では、東ティモールへ救急法等指導員資格を持つ職員を派遣するとともに、東ティモール赤十字社に対して資金協力を行いました。



東ティモール赤十字社スタッフとの交流



NHK海外たすけあい街頭啓発キャンペーン

## 10. 支援者の増強と活動資金の確保

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動をたゆみなく続けていますが、これらの活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年、5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の積極的なご協力をいただいた結果、平成30年度は288,701,210円もの活動資金へのご寄付をいただきました。

なお、口座振替やクレジットカード決済による活動資金募集につきましては、1,473件10,150,954円のご寄付があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しています。

また、ダイレクトメールによる活動資金募集においては、874件23,938,386円のご寄付がありました。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、皆様の一層のご理解を得て、支援者の増強と活動資金の増収に向け、取組を推進してまいります。

### (1) 活動資金収納状況

(各年3月末現在)

区分		平成30年度	平成29年度	対前年度比較(%)
地区 扱	京都市	117,648,398	113,062,538	104.1%
	府内14市	71,944,072	75,681,388	95.1%
	府内町村	12,838,584	12,975,986	98.9%
	小計	202,431,054	201,719,912	100.4%
支部扱い		86,270,156	53,740,472	160.5%
合計		288,701,210	255,460,384	113.0%

### (2) 会員数 (※)

(各年3月末現在)

区分		平成30年度			平成29年度		
		個人	法人	合計	個人	法人	合計
地区 扱	京都市	507	203	710	321	170	491
	府内14市	198	13	211	113	11	124
	府内町村	19	1	20	11	0	11
	小計	724	217	941	445	181	626
支部扱い		921	421	1,342	1,088	278	1,366
合計		1,645	638	2,283	1,533	459	1,992

※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方

### (3) 社資功労表彰件数

(平成31年3月末現在)

表彰名	件数
日本赤十字社社長感謝状	9
金色有功章	8
銀色有功章	8
日本赤十字社京都府支部長感謝状	10

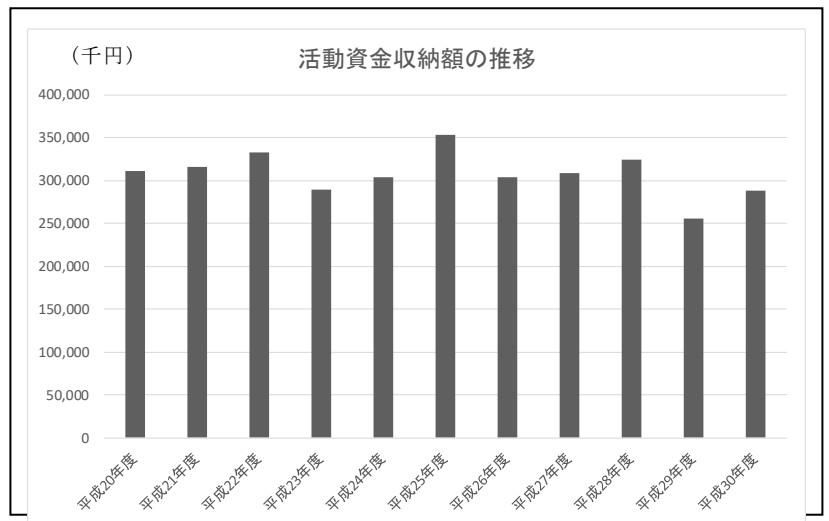


## 地区別実績額

京都市内 地区	金額(円)
北 区	10,639,484
上京区	7,995,250
左京区	13,818,527
中京区	9,888,520
東山区	4,861,900
山科区	10,905,501
下京区	7,154,622
南 区	7,543,530
右京区	15,471,177
西京区	10,053,777
伏見区	19,316,110
合計①	117,648,398

広域振興局 地区	金額(円)
山城(乙訓)	1,339,748
山城(山城北)	3,207,810
山城(山城南)	3,621,455
南 丹	1,724,999
丹 後	2,944,572
合計③	12,838,584
地区計(①+②+③)	202,431,054
支部扱	86,270,156
合計	288,701,210

京都府内 地区	金額(円)
宇治市	9,054,413
亀岡市	8,520,491
綾部市	3,069,450
福知山市	7,488,126
宮津市	1,767,063
舞鶴市	6,880,626
城陽市	5,931,527
向日市	2,625,750
長岡京市	4,269,574
八幡市	2,685,895
京田辺市	4,514,183
京丹後市	6,270,252
南丹市	4,238,900
木津川市	4,627,822
合計②	71,944,072



## 1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

### (1) 赤十字運動月間キャンペーンの実施

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を毎年『赤十字運動月間』として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼び掛けています。京都府支部においても、赤十字の活動について一人でも多くの皆様のご理解とご協力をいただくため、様々な取組を実施しました。

### (2) 平成30年度防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～

過去の災害の教訓を忘れることなく、日本赤十字社、ボランティア、企業・団体等が、「備える」ことについて共に考え、具体的に実践することで、将来起こりうる災害に対する防災・減災意識の向上を目指すことを目的に、東日本大震災から5年が経過したことを契機として、3月1日から31日までの1か月間、全国的なプロジェクトとして平成27年度から実施しているものです。平成30年度については、13の企業、団体にご賛同いただき、災害救護事業へのご寄付、社員の皆様によるプロジェクトバッジの着用やポスター掲示等の広報活動にご協力をいただきました。

### (3) レッドライトアップ

日本赤十字社では、5月8日の世界赤十字デーを中心に、先人たちが歩んできた人道の歴史に思いをはせるとともに、紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、「人道」への理解を深めていただくことを目的として、全国各地の歴史的建造物等のライトアップを行っています。京都府支部では、5月8日に府内3か所の建物を赤色にライトアップする「赤十字レッドライトアッププロジェクト」を実施しました。

### (4) イベント・キャンペーンの開催・参加状況

名 称	期日	場 所	啓発物品配布数
ひろげよう赤十字の輪（和）	5/26	京都駅前地下街ポルタプラザ	500
まいづる田辺城まつり	5/27	舞鶴公園	600
北区民ふれあいまつり2018	5/27	京都府立清明高校	200
京都第一赤十字病院フェスティバル（医療体験キッズセミナー）	7/14	京都第一赤十字病院	—
伏見ふれあいプラザ2018	9/2	京都府総合見本市会館「京都パルスプラザ」	300

名 称	期 日	場 所	啓発物品配布数
右京区民ふれあいフェスティバル2018	10/27	太秦安井公園	1,000
上京区民ふれあいまつり2018	10/28	京都市立二条城北小学校	1,000
中京区民ふれあいまつり2018	10/28	京都市立中京中学校	1,000
下京区ふれ愛ひろば	11/11	梅小路公園	1,000
南区民ふれあいまつり	11/11	東寺（教王護国寺）境内	650
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	1,000
ふれあい“やましな”2018区民まつり	11/23	山科中央公園	350
東山区民ふれあいひろば2018	11/24	京都市立開晴小中学校	500
京防災フェスタ2018	12/9	梅小路公園	100

※上記以外にも、地区独自で地域の各種催し等に啓発ブースの出展等をされています。

#### (5) 広報活動の展開

内 容	期 間	場 所	備 考
赤十字バナーの掲揚	4/7～5/20	七条通（支部前～川端通）	
各戸チラシの配布	4～5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
市民しんぶん等による 広報	4～5月	各地域での啓発	地区に依頼
ポスターの掲示	5月	J R 西日本、京都市営地下鉄、京都丹後鉄道、阪急電鉄の各駅	第4ブロック合同事業 （JR福知山駅、綾部駅、西舞鶴駅、東舞鶴駅、近鉄、京阪電鉄は大阪府支部から依頼。京都市営地下鉄、京都丹後鉄道は支部単独事業）
J R ドア横ポスターの 掲示		近畿2府4県を走る快速電車の全車両	第4ブロック合同事業
テレビスポットCM		K B S 京都	15秒スポット（通年）
ケーブルテレビCM		京丹波町ケーブルテレビ	
ラジオCM		K B S 京都、エフエム京都、エフエム宇治、FMあやべ、FMまいづる	K B S 京都、FMあやべ（通年）
立て看板の設置	5/1～31	支部	

内 容	期 間	場 所	備 考
赤十字レッドライトアッププロジェクト2018	5/8	京都府庁旧本館、元離宮二条城、舞鶴赤十字病院	
広報紙「赤十字きょうと」の発行	7月、1月		会員等に送付
パネル展示	4/3～4/27	集西楽サカタニ	
	4/27～5/11	左京区役所	
	5/1～5/11	右京区役所	
	5/27	京都府立清明高校グラウンド	北区民ふれあいまつり
	7/14	京都第一赤十字病院	京都第一赤十字病院フェスティバル（医療体験キッズセミナー）
	8/4	京都市立鷹峯小学校	鷹峯学区ふれあいまつり
	9/3～9/6	京都府立嵯峨野高校	文化祭
	9/12～9/14	華頂女子高校	文化祭
	10/7	京都市立仁和小学校	仁和まつり（赤十字奉仕団ブース）
	11/4	宇治市総合福祉会館	2018宇治福祉まつり RC京都宇治支会によるブース出展
	11/18	けいはんなプラザ	せいか祭り
	11/18	京都市立下鳥羽小学校	下鳥羽カーニバル
	12/1	福知山市立中央公民館	福知山市立中央公民館文化祭
3/10	与謝野町立岩滝小学校	与謝野町防災訓練	

#### (6) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」着ぐるみの出動状況

名 称	期 日	場 所	備 考
新入生歓迎会	4/10	京都府立北嵯峨高校	貸出し
ひろげよう赤十字の輪（和）	5/26	京都駅前地下街ボルタプラザ	
まいづる田辺城まつり	5/27	舞鶴公園	
京都第一赤十字病院フェスティバル（医療体験キッズセミナー）	7/14	京都第一赤十字病院	
中京区民ふれあいまつり2018	10/28	京都市立中京中学校	
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	
有功会小児病棟激励	12/20	京都第二赤十字病院	
有功会小児病棟激励	12/21	京都第一赤十字病院	

# 資料





## 平成30年度の主な行事

### 赤十字大会の開催

項目	期日	場所	参加者数
全国赤十字大会	5/16	東京都・明治神宮会館	36

### 評議員会

実施日	場所	議案
6月15日(金)	京都府支部	支部・施設の平成29年度決算等
2月5日(火)	京都府支部	支部・施設の平成31年度予算等

### 業務・会計監査

実施日	対象施設名
5月31日(木)	京都第一赤十字病院、舞鶴赤十字病院、京都府赤十字血液センター
6月1日(金)	京都第二赤十字病院、京都府支部

年月日(曜)	行事	開催場所
5月1日(火)～31日(木)	赤十字運動月間	京都府内一円
5月12日(土)	由良川水系総合防災演習	福知山市
5月19日(土)	京都府支部救護班要員基礎研修	京都第一赤十字病院
5月26日(土)	啓発キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」	京都駅前地下街 ポルタプラザ
5月27日(日)	まいづる田辺城まつりへの赤十字ブースの出展	舞鶴公園
5月31日(木)、6月1日(金)	赤十字奉仕団中央委員会	日赤十字社本社
6月2日(土)	第4(近畿)ブロック支部合同災害救護訓練	大阪府支部他
8月4日(土)～6日(月)	京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	宇治市 (アクトバル宇治)
8月16日(木)～22日(水)	第8回第4ブロック合同青少年赤十字国際交流事業(派遣)	マレーシア

年 月 日 (曜)	行 事	開 催 場 所
9 月 1 日 (土)	京都市総合防災訓練	京都市右京区
9 月 2 日 (日)	京都府総合防災訓練	綾部市
1 0 月 4 日 (木)～5 日 (金)	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	秋田県秋田市
1 0 月 1 2 日 (金)	有功会総会	京都市下京区
1 0 月 1 9 日 (金)	J R 列車事故総合訓練	京都市下京区
1 2 月 1 日 (土)～2 5 日 (火)	第 3 6 回「NHK海外たすけあい」運動	京都府一円
1 2 月 2 日 (日)	出水学区防災訓練 (地域防災セミナー)	京都市上京区
1 2 月 8 日 (土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市下京区
1 2 月 2 4 日 (祝・月)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市南区
1 月 1 7 日 (木)	赤十字奉仕団京都府支部委員会	京都市中京区
1 月 2 5 日 (金)	京都刑務所総合防災訓練	京都市山科区
1 月 3 0 日 (水)	日赤地区長会議 (京都市内地区)	京都市役所
2 月 3 日 (日)	東日本大震災復興支援事業 日帰りツアー	神戸市・姫路市
2 月 3 日 (日)	近畿地方DMATブロック訓練	京都市内
2 月 1 5 日 (金)	地域防災セミナー	宇治市 (南宇治中学校)
2 月 2 3 日 (土)	支部管内合同災害救護訓練	京都府赤十字 血液センター
2 月 2 5 日 (月)	日赤副地区長・事務担当者会議	京都府支部
3 月 1 6 日 (土)	東日本⇄京都 交流・相談会	聞法会館

表 彰

表章区分		表章基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綬 褒 章	500 万円以上 (個人) 1,000 万円以上 (法人)	0	0	0
	厚生労働大臣感謝状	100 万円以上 500 万円未満 (個人)	3	2	5
		300 万円以上 1,000 万円未満 (法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50 万円以上	2	7	9
	金 色 有 功 章	50 万円以上	6	2	8
	銀 色 有 功 章	20 万円以上	5	3	8
	支 部 長 感 謝 状	10 万円以上	7	3	10
	小計			23	17
役職功労	金 色 有 功 章	在職年数 6 年以上 他	4	0	4
	銀 色 有 功 章	在職年数 3 年以上 他	3	0	3
	小計			7	0
奉仕団員等奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数 10 年以上	3	0	3
	金 色 有 功 章	活動年数 20 年以上	15	0	15
	銀 色 有 功 章	活動年数 15 年以上	27	0	27
	支 部 長 感 謝 状 2	活動年数 10 年以上	35	0	35
	支 部 長 感 謝 状 1	活動年数 5 年以上	40	0	40
	小計			120	0

# 役 職 員 名 簿

(令和元年6月1日現在)

## 京 都 府 支 部

支 部 長 山 田 啓 二  
副 支 部 長 小 石 原 範 和  
" 汐 見 明 男  
" 河 井 規 子  
  
監 査 委 員 柏 原 康 夫  
" 武 田 盛 治  
" 渡 邊 隆 夫  
顧 問 西 脇 隆 俊  
" 門 川 大 作  
  
事 務 局 長 山 田 清 司  
総 務 課 長 川 淵 正 和  
組 織 振 興 課 長 牛 田 順 子  
事 業 推 進 課 長 新 井 清 久  
参 事 松 本 哲

## 京 都 第 一 赤 十 字 病 院

院 長 池 田 栄 人  
副 院 長 吉 田 憲 正  
" 福 田 互  
" 塩 飽 保 博  
" 中 島 路 子  
事 務 部 長 岩 永 美 好  
看 護 部 長 (兼) 中 島 路 子

## 京 都 第 一 赤 十 字 看 護 専 門 学 校

学 校 長 (兼) 池 田 栄 人  
副 学 校 長 小 林 尚 美  
事 務 部 長 (兼) 岩 永 美 好

## 京 都 第 二 赤 十 字 病 院

院 長 小 林 裕  
副 院 長 谷 口 弘  
" 長 村 敏 生  
" 出 島 健 司  
事 務 部 長 上 田 敏 勝  
看 護 部 長 田 中 千 代 美

## 京 都 第 二 赤 十 字 看 護 専 門 学 校

学 校 長 (兼) 小 林 裕  
副 学 校 長 小 田 初 美  
事 務 部 長 (兼) 上 田 敏 勝

## 舞 鶴 赤 十 字 病 院

院 長 西 田 和 夫  
副 院 長 片 山 義 敬  
事 務 部 長 高 橋 裕 行  
看 護 部 長 佐 竹 孝 恵

## 京 都 府 赤 十 字 血 液 セ ン タ ー

所 長 辻 肇  
事 務 部 長 刀 祢 利 昭



# 評 議 員 名 簿

(令和元年6月20日現在)

地区名等	氏 名	地区名等	氏 名
北 区	石 田 儀 雄	福 知 山 市	大 橋 一 夫
	山 本 勝 保		土 田 康 輔
上 京 区	木 下 博 視	宮 津 市	城 崎 雅 文
	赤 井 英 俊	舞 鶴 市	多々見 良 三
左 京 区	戸 川 隆 博		倉 橋 貢
	風 間 隨 成	城 陽 市	奥 田 敏 晴
	平 賀 太 郎	向 日 市	安 田 守
中 京 区	山 科 文 子	長 岡 京 市	中小路 健 吾
	河 邑 明 佳	八 幡 市	堀 口 文 昭
東 山 区	名 和 準 三	京 田 辺 市	石 井 明 三
	高 垣 慶 嗣	京 丹 後 市	三 崎 政 直
山 科 区	◇ 澤 田 清 一	南 丹 市	西 村 良 平
	中 尾 力	木 津 川 市	河 井 規 子
下 京 区	勝 間 昇	山 城	前 川 光
	小川原 繁		信 貴 康 孝
南 区	石 原 國 男		西 谷 信 夫
	高 落 秀 男		木 村 要
右 京 区	市 田 悦 万	南 丹	太 田 昇 樹
	山 口 正 清	丹 後	吉 本 秀 樹
	守 屋 忠 敏	支部長選出	○◇ 今 井 民 雄
西 京 区	関 谷 一 男		◇ 横 山 義 雄
	田 畑 たつ子		◇ 加 藤 厚 子
伏 見 区	田 中 震 治		◇ 菊 地 笑 子
	武 部 太 郎		小 林 佑 年
	森 野 隆 男		川 部 松 夫
宇 治 市	山 本 正		豊 島 建 治
	俣 政 和		足 達 靖 彦
亀 岡 市	桂 川 孝 裕		阪 口 桂 子
綾 部 市	山 崎 善 也		

(順不同・敬称略)

本社役員等 ○理事 ◇代議員

(計57名)

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図

平成31年 4月 1日現在

日本赤十字社京都府支部  
(支部長 山田啓二)

京都市内	11地区	
京都市を除く市	14地区	
府振興局	3地区	11分区
計	28地区	11分区

京都市地区本部  
(本部長 京都市副市長)

北区地区 (北区長)
上京区地区 (上京区長)
左京区地区 (左京区長)
中京区地区 (中京区長)
東山区地区 (東山区長)
山科区地区 (山科区長)
下京区地区 (下京区長)
南区地区 (南区長)
右京区地区 (右京区長)
西京区地区 (西京区長)
伏見区地区 (伏見区長)
京都市 11地区

宇治市地区 (宇治市長)
亀岡市地区 (亀岡市長)
綾部市地区 (綾部市長)
福知山市地区 (福知山市長)
宮津市地区 (宮津市長)
舞鶴市地区 (舞鶴市長)
城陽市地区 (城陽市長)
向日市地区 (向日市長)
長岡京市地区 (長岡京市長)
八幡市地区 (八幡市長)
京田辺市地区 (京田辺市長)
京丹後市地区 (京丹後市長)
南丹市地区 (南丹市長)
木津川市地区 (木津川市長)
14市 14地区

山城(乙訓)地区 (山城広域振興局長)	大山崎町分区
山城(山城北)地区 (山城広域振興局長)	久御山町分区、井手町分区、宇治田原町分区
山城(山城南)地区 (山城広域振興局長)	笠置町分区、和束町分区、精華町分区 南山城村分区
南丹地区 (南丹広域振興局長)	京丹波町分区
丹後地区 (丹後広域振興局長)	伊根町分区、与謝野町分区
3 振興局 3 地区 (5保健所)	11 町村 11 分区

# 施設一覧

- **日本赤十字社京都府支部**  
〒605-0941  
京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075(541)9326  
ホームページ <http://redcross-kyoto.jp/wordpress/>
  
- **京都第一赤十字病院**  
〒605-0981  
京都市東山区本町15-749 TEL 075(561)1121  
ホームページ <http://www.kyoto1-jrc.org>
  
- **京都第一赤十字看護専門学校**  
〒605-0981  
京都市東山区本町15-749 TEL 075(533)1269  
ホームページ [http://www.kyoto1-jrc.org/vocational\\_school/](http://www.kyoto1-jrc.org/vocational_school/)
  
- **京都第二赤十字病院**  
〒602-8026  
京都市上京区釜座通丸太町上る春帯町355-5 TEL 075(231)5171  
ホームページ <http://www.kyoto2.jrc.or.jp>
  
- **京都第二赤十字看護専門学校**  
〒602-8015  
京都市上京区衣棚通出水下る常泉院町133-3 TEL 075(441)2007  
ホームページ <http://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing/>
  
- **舞鶴赤十字病院**  
〒624-0906  
舞鶴市倉谷427 TEL 0773(75)4175  
ホームページ <http://maizuru.jrc.or.jp>
  
- **京都府赤十字血液センター**  
〒612-8451  
京都市伏見区中島北ノ口町26番地 TEL 075(531)0111  
ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/index.html>
  
- 福知山出張所**  
    〒620-0853  
    福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773(27)6630
  
- 四条出張所 (献血ルーム四条)**  
    〒600-8006  
    京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99  
    四条SETビル5階 TEL 0120(640)388
  
- 京都駅前出張所 (献血ルーム京都駅前)**  
    〒600-8216  
    京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735  
    京阪京都ビル6階 TEL 0120(569)356
  
- 伏見大手筋出張所 (献血ルーム伏見大手筋)**  
    〒612-8053  
    京都市伏見区東大手町763若由ビル1階 TEL 0120(731)350

## 平成30年度事業報告書

発行 令和元年6月20日  
発行元 日本赤十字社京都府支部

住所 京都市東山区三十三間堂廻り町644  
TEL 075-541-9326 (代表)  
FAX 075-541-1361



